

平成 17 年 9 月 2 日

関係機関・団体の長 殿（様）

鹿児島県病害虫防除所長

シルバーリーフコナジラミ成虫に対する薬剤の殺虫試験結果（技術情報第 7 号）について（送付）

トマト黄化葉巻病の発生により媒介虫のシルバーリーフコナジラミに対する農薬の使用回数が増加し、薬剤の効力低下が懸念されていることから、標記試験を実施しました。結果を下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考資料としてご活用ください。

記

1．対象害虫

シルバーリーフコナジラミ（成虫）

採集場所

大口市山野，高尾野町千間山，さつま町時吉

2．供試薬剤（12 薬剤）

(1)ネオニコチノイド剤 7 剤

(2)合成ピレスロイド剤 1 剤

(3)殺ダニ剤 2 剤

(4)その他剤 2 剤

薬剤名は次ページの表を参照

3．結果

ベストガード水溶剤，サンマイトフロアブル及びアルバリン顆粒水溶剤（スタークル顆粒水溶剤）の 3 剤は，シルバーリーフコナジラミの成虫に対して安定した殺虫効果が認められた。

4．試験結果の留意点及び対策

(1)今回の試験結果は，シルバーリーフコナジラミの成虫に対する結果で，卵，幼虫等に対する殺虫効果は不明である。

(2)トマト黄化葉巻病ウイルス（TYLCV）の感染を防止するためには，薬剤による防除だけでなく，防虫網の設置等の総合的な防除対策を徹底する。

< 参考 > 試験結果の詳細

1. 採集場所等

採集場所	採集月日	採集作物	検定月日
大口市山野	平成 17 年 6 月 8 日	トマト	平成 17 年 8 月 2 ~ 7 日
高尾野町千間山	平成 17 年 6 月 9 日	ミニトマト	平成 17 年 8 月 8 ~ 13 日
さつま町時吉	平成 17 年 6 月 22 日	トマト	平成 17 年 8 月 2 ~ 7 日

2. 供試虫および虫数・反復

供試虫：ナスで 2 ~ 3 世代累代飼育した成虫を供試した。

供試虫数：各処理区約 10 頭を供試

反復：3 反復

3. 検定方法

樋口ら（熊本県農業研究センター）の方法に準じる。キャベツ葉片（所定濃度の薬液に浸漬）を入れたシャーレ（直径 35mm）に成虫を放し、実体顕微鏡下で成虫の生死を調査した。

4. 試験結果

表 1- 1. コナジラミ類の成虫に対する各薬剤の殺虫効果(補正死亡率)- 大口市トマトほ場採集個体群

供試薬剤名	薬剤系統名	希釈倍数	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後
アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド剤	10,000	6	38	45	-	-
アルパリン顆粒水和剤 (スタークル顆粒水和剤)	ネオニコチノイド剤	3,000	38	71	87	-	-
アクタラ顆粒水和剤	ネオニコチノイド剤	2,000	14	22	41	-	-
ダントツ水溶剤	ネオニコチノイド剤	2,000	0	8	12	-	-
ベストガード水溶剤	ネオニコチノイド剤	1,000	48	92	100	-	-
バリアード顆粒水和剤	ネオニコチノイド剤	4,000	16	50	73	-	-
モスピラン水溶剤	ネオニコチノイド剤	2,000	27	66	71	-	-
トレボン乳剤	合成ピレスロイド剤	1,000	3	2	6	-	-
サンマイルフロアブル	殺ダニ剤	1,000	22	63	89	-	-
コロマイト乳剤	殺ダニ剤	1,500	29	37	37	41	41
チェス水和剤	その他	3,000	3	3	3	11	8
ハチハチ乳剤	その他	1,000	4	16	41	41	41

補正死亡率：処理区の死亡率を無処理の死亡率で補正。

表 1- 2. コナジラミ類の成虫に対する各薬剤の殺虫効果(補正死亡率)- 高尾野町ミニトマトほ場採集個体群

供試薬剤名	薬剤系統名	希釈倍数	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後
アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド剤	10,000	4	11	17	-	-
アルパリン顆粒水和剤 (スタークル顆粒水和剤)	ネオニコチノイド剤	3,000	62	85	91	-	-
アクタラ顆粒水和剤	ネオニコチノイド剤	2,000	0	4	1	-	-
ダントツ水溶剤	ネオニコチノイド剤	2,000	12	12	35	-	-
ベストガード水溶剤	ネオニコチノイド剤	1,000	48	93	100	-	-
モスピラン水溶剤	ネオニコチノイド剤	2,000	8	58	58	-	-
トレボン乳剤	合成ピレスロイド剤	1,000	18	50	48	-	-
サンマイルフロアブル	殺ダニ剤	1,000	60	80	82	-	-
コロマイト乳剤	殺ダニ剤	1,500	0	13	3	3	18
チェス水和剤	その他	3,000	0	4	2	2	11
ハチハチ乳剤	その他	1,000	0	0	2	2	2

表 1- 3. コナジラミ類の成虫に対する各薬剤の殺虫効果(補正死亡率)- さつま町トマトほ場採集個体群

供試薬剤名	薬剤系統名	希釈倍数	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後
アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド剤	10,000	23	27	38	-	-
アルパリン顆粒水和剤 (スタークル顆粒水和剤)	ネオニコチノイド剤	3,000	19	79	90	-	-
アクタラ顆粒水和剤	ネオニコチノイド剤	2,000	0	4	1	-	-
ダントツ水溶剤	ネオニコチノイド剤	2,000	0	13	6	-	-
ベストガード水溶剤	ネオニコチノイド剤	1,000	40	87	100	-	-
バリアード顆粒水和剤	ネオニコチノイド剤	4,000	12	63	78	-	-
モスピラン水溶剤	ネオニコチノイド剤	2,000	8	61	81	-	-
トレボン乳剤	合成ピレスロイド剤	1,000	8	31	44	-	-
サンマイルフロアブル	殺ダニ剤	1,000	53	90	93	-	-
コロマイト乳剤	殺ダニ剤	1,500	8	23	40	42	45
チェス水和剤	その他	3,000	0	26	7	7	3
ハチハチ乳剤	その他	1,000	4	9	6	6	18